



蓄膿症（慢性副鼻腔炎）の治療は抗生物質や消炎剤の内服が中心。三カ月ほど続けても症状が改善しない時は手術となることもあります。

昔は歯茎を切って副鼻腔内の炎症を起こした粘膜を根こそぎ取る方法でしたが、現在は内視鏡を鼻に入れ、中にできた鼻茸と呼ばれるポリープを切除し、鼻と副鼻腔との

蓄膿症って？ ⑦

片側ずつ!!



増えています。この場合は手術しても再発しやすく、内科と連携しながら炎症を抑える治療を継続する必要があります。

交通路を広げたりする手術に変わっています。

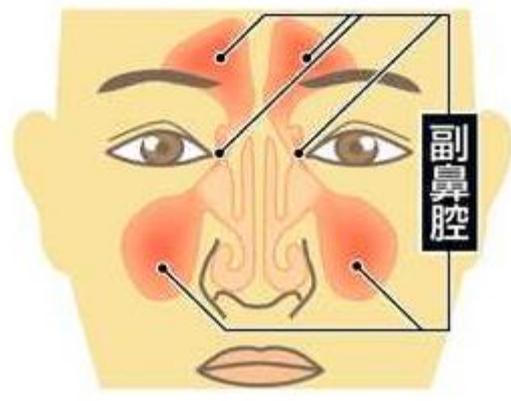
補足ですが、鼻水はすらすら、かんでください。鼻と耳は耳管でつながっていて、強くかむと耳

一週間程度の入院が必要となるケースが多く、退院後も鼻の処置をします。一カ月ほどでおおむね傷の状態は落ち着きますが、数カ月ほどの通院が必要です。また、薄い食塩水で粘膜への刺激がないように鼻を洗浄することも有効です。

ぜんそくと関連して副鼻腔炎が起こるケースも

（寺西正明耳鼻咽喉科医の12の3。中日病院 052(961)2491

鼻をかむときは片側ずつ



⑧の副鼻腔のイラストが編集過程で誤ったものが掲載されたので、再掲します。（県内版担当デスク）



中日病院 名古屋市中区丸の内3